

年末年始を迎えるに当たって

新型コロナウイルス感染症の拡大、各地でのクラスターの続出、「GOTO トラベル」の一時停止 等々 厳しい情勢が続く中、コロナが流行してから、**初めての冬、そして年末年始** を迎えます

日常生活でのコロナ感染については、基本的な感染防止、いわゆる「新しい生活様式」の徹底を図ることが重要です。すなわち、

- ・ 外出時や会話時のマスクの（常時）着用
- ・ こまめな手洗い、消毒
- ・ 人と人との距離の確保
- ・ 適切な換気の実施

です。

特に、飲食を伴う多人数の会合、歌唱や接待を伴う店舗での飲食などは、マスク非着用での行動になりがちで感染リスクが非常に高いです。

リスクの高い行動を回避する「**自己防衛行動**」、これを皆さんに強くお願いします。

年末年始に人々の交流を通じて新型コロナの感染が全国的に拡大すると、さらに医療が逼迫し、結果的に経済も大きな打撃を被ります。

「命」と「暮らし」を守るためには、社会を構成する一人ひとりが

年末年始を『静かに』過ごす ことが求められます。

○ 忘年会・新年会

最も大切なことは、なるべく普段から一緒にいる人と少人数で開催すること。会話をする時は必ずマスクを着用、短時間で適度な酒量で、など「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」をお願いします。

オンライン忘年会・新年会を検討してみましょう。

「会食は1テーブル4人以下、黙ってモグモグ 会話の時は必ずマスク着用！」

○ 成人式

多くの新成人が久しぶりに地元集まる機会ですが、「三密」や「感染リスクが高まる「5つの場面」」が生じやすい機会でもあります。

体調が悪い人は参加しない、会場やその周辺では密集しない、式典の前後には飲食を控える、など注意しましょう。

○ 初詣、カウントダウンイベントなど

混雑する時期を

避けましょう。

感染防止策の徹底を

お願いします。

○ 帰省

帰省する場合には、三密回避を含め、基本的な感染防止策を徹底するとともに、特に大人数の会食を控えるなど、大好きなおじいちゃん、おばあちゃんなど高齢者等への感染につながらないように、十分な注意が必要です。そうした対応が難しいと判断される場合は、今回の帰省は我慢して控えてください。特に発熱等の症状がある場合は帰省をあきらめましょう。

まずは、自身の体調、行動、そして感染の状況などについて慎重に検討し、やむを得ず帰省する場合は、帰省（滞在）先で感染防止策と自己防衛行動を徹底し、元気に戻ってきてください。